

オーロラに魅せられて

一般財団法人 建設物価調査会
通駅 晃成

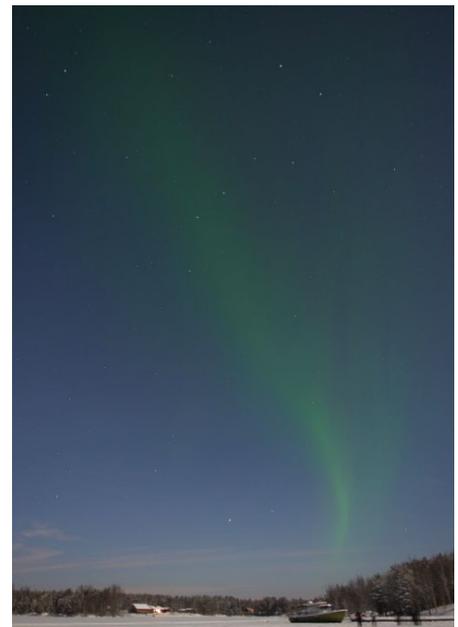
今回寄稿の機会を頂き、せっかくですから何か木に関するお話ができればと考えましたが、よく考えると皆様に木の話をするなど釈迦に説法。木とは関係ない話にしようと考え直しまして、この度は私が好きなオーロラについて書かせて頂くことにしました。

私がオーロラに興味を持ったのは前職でオーロラの研究を行っていたことがきっかけです。前職は住宅メーカーだったのですが、諸事情あってオーロラの研究を行うことになりました。最初は『なぜオーロラ?』と思っていたのですが、研究するうちに幻想的な見た目等に魅かれ、いつの間にか『自分の目で見てみたい』、『綺麗なオーロラの写真を撮りたい』(カメラ好きなもので)と考えるようになるほど惹かれていきました。

このオーロラ、電磁気学という電気や磁気に関する現象です。太陽で起こる爆発により地球に向かって大量の電子が押し寄せてくる(太陽風)のですが、これが地球の大気と衝突した際に発光し、その光がオーロラとなります。

オーロラの色や光の強さは太陽風の強さと大気の種類で変わります。よく見られる緑のオーロラは主に太陽からの電子と酸素が衝突したときの色となり、赤紫は窒素と衝突したときの色となります。地球では大気的主要成分が窒素と酸素のため緑と赤紫がよく見られますが、地球以外の惑星では異なる色のオーロラが発生するそうです。

またオーロラの発生にもう一つ大事なものは磁気です。地球は北極と南極をS極・N極とした大きな磁石のようなのですが、この磁石が発する磁気(磁力線)に沿ってオーロラが発生します。この磁気は特に北極と南極の方に円形状に集まっており、北半球では北緯65度~70度付近、カナダ・アラスカ・北欧がこれに当たるため、これらの地域でオーロラがよく見えるのです。



緑色のオーロラ。
凍った湖の上で見えています。

さて難しい話はここまでとして、実は数年前に念願かなって北欧にオーロラを見に行くことができました。以下にその時の話などを記載したいと思います。



スノーモービルに乗る筆者。
マスクのせいで銀行強盗のようです…。



犬ぞりは一見楽しそうですが、
頻繁に犬が粗相をするため臭かったりします…。

①オーロラ以外の予定もしっかりと

オーロラは夜に出るものというイメージがあると思いますが、実は昼も発生しています。しかし太陽の光に比べてオーロラの光は弱く、昼は太陽の光が邪魔をして見ることはできません。そのためオーロラを見るためには夜中に活動することが多くなります。北欧の冬は極夜で昼の時間が短くなりますが、それでも昼間に何も予定がないのは大変暇です。北欧の街並みを見たり北欧雑貨を見たりというのは都市部ならできますが、オーロラを見る拠点となるような街や村ではそういったお店が少ないことが多く、実際私が滞在した場所も店は数件、2～3時間もあれば一通り回れる場所でした。

場所によってはアクティビティとして、犬ぞり、トナカイそり、スノーモービル、スキーなどで遊ぶことができるため、お勧めです。私はオーロラ以外ノープランで行って暇になり現地ですぐ探さなくなりました(幸い観光地でしたので簡単な英語で問題ありませんでした)。但し、そういった場所だけではないと思いますので、あらかじめ探しておいたり、ツアーでしたらオプションの申し込みなども検討した方が良いでしょう。

②どこへ見に行くか？

前述の通りオーロラを見に行きたいと思うと、カナダ・アラスカ・北欧がメジャーな地域になると思います。諸説ありますが、私が聞いた中ではカナダやアラスカの方が見られる確率が高い、しかし北欧の方がオーロラ以外の観光場所が多い、というものでした。カナダやアラスカの方が見られる確率が高いというのは天気の問題で、オーロラははるか雲の上で発生する現象のため、雲が発生しては見ることはできないためです。(カナダやアラスカの方が比較的天候に恵まれやすいと聞きました)

私はヨーロッパの街並みも見てみたかったので北欧を選択しましたが、オーロラを見ることができる日程のうち半分は曇り(雪)だったので、天気の件はあながち間違いではないかもしれません。(私の運が悪かっただけという可能性もありますが・・・)

③写真を撮るならちゃんとしたカメラで

オーロラの光というのは非常に弱く、『これオーロラ？雲じゃないの？』と迷うほど弱々しいオーロラもあります。そんなオーロラを撮影するにはカメラの感度を上げるかシャッタースピードを調整する必要があります。最近のスマホのカメラは性能が良くなっているとはいえ、こういった特殊な撮影を想定した製品は少ないと思いますので、できれば一眼レフカメラ、荷物になることを考慮しても小型のミラーレスカメラがあった方が良いでしょう。

④オプションツアーも要検討

現地のホテルや村からオーロラを見ることはもちろんできますが、見る確率を上げるのであれば、オプションのツアーも検討に値します。実際私の場合はホテルの近くでは見る事ができなかったため、バスでオーロラが見えそうなところを探し回ってくれるツアーを申し込み見る事ができました。(ツアーの後に温かいサーモンスープのサービスもあって、おすすめです！)

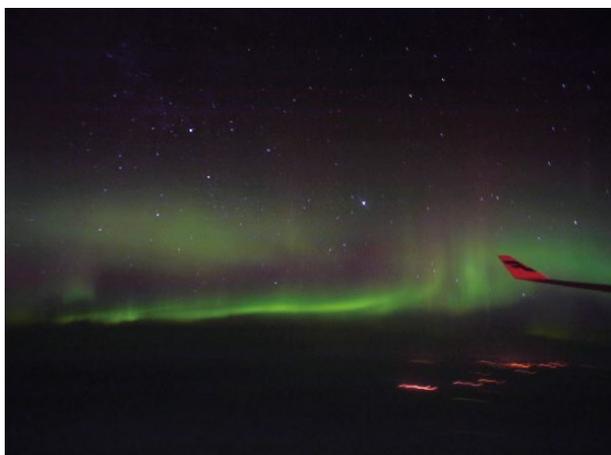
なお余談ですが、私が申し込んだツアー、全員が日本人でした。どうやらオーロラをこんなに見たがるのはほぼ日本人で、他国の方はスキーなどのアクティビティがメインで来るようです。



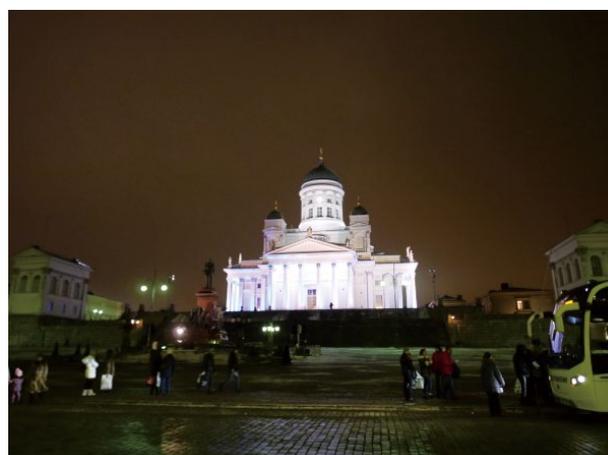
バスに乗ってたら、急にオーロラ発生！



冷えた体に温かいサーモンスープ。
簡単に作れて美味しい！今でもたまに作ります。



飛行機からのオーロラ。



オーロラ以外の観光も。
写真はヘルシンキ大聖堂。



ロヴァニエミのサンタクロース村。
(観光地です)



ヘルシンキ市内のマーケット。

⑤最後まであきらめない！

オーロラを見ることができるかは結局のところ運です。天候が悪いこともあれば、晴れていてもオーロラが発生しないこともあります。しかし最後のチャンスとして、飛行機から見ることもできる場合があります。実際、飛行機に同乗していた他の方の中に帰りの飛行機で初めてオーロラを見たという方もいました。しかし、その方が残念だったところはカメラを預け荷物にしてしまったところ。見られたはいいけど写真が撮れないと嘆いておりました。こんな時に備えてカメラは機内に持ち込むのがお勧めです。

なお、北欧から日本に向かう場合は飛行機の左側でオーロラが発生しますので、左の窓側の席が取れるとなお良いと思います。